

特集

taTME のすべて

直腸癌手術における重要な選択肢として taTME (trans anal total mesorectal excision ; 経肛門的全直腸間膜切除術) は昨今世界的な広がりを見せている。その大きな理由として腹腔鏡手術の課題であった骨盤深部での操作性に優れていることが挙げられ, taTME による手術成績向上が今後期待される。一方, 経腹アプローチと異なる解剖学的なメルクマールの理解や, 技術的なピットフォールが多々あり, 近年の国際的な臨床試験から示されたように腹腔鏡下 TME は根治性の確保という観点からも決して容易な手術ではない。

そこで, 今回の特集では taTME の手技に焦点を絞り, ①安全に行う, ②標準化する, ③より高度な手技への展開という観点から, 「taTME の手術手技を極める」 ためにご解説いただいた。本特集を役立てていただければ幸いである。